

## 愛知県経済の現状と見通し<2023年9月>

### 1. 景気判断一覧表




部門	個別項目	水準評価 ※1	基調判断(前月比較)※2	
				詳細
総括判断	景気の現状			<p><b>緩やかに持ち直している</b></p> <p>経済活動の正常化に伴い、生産や消費は持ち直しの動きがみられ、県内景気は緩やかに持ち直している。</p>
家計部門	個人消費			<p><b>回復に向けた動き</b></p> <p>百貨店販売額は22か月連続の前年比増加</p>
	雇用			<p><b>回復傾向が一服</b></p> <p>有効求人倍率は2か月連続の前月比上昇</p>
	住宅投資			<p><b>底離れしつつある</b></p> <p>住宅着工戸数は6か月ぶりの前年比増加</p>
企業部門	企業活動			<p><b>緩やかな回復傾向にある</b></p> <p>鉱工業生産指数は7か月連続の前年比上昇</p>
	企業倒産			<p><b>悪化しつつある</b></p> <p>企業倒産件数は8か月連続の前年比増加</p>
海外部門	輸出			<p><b>持ち直しの兆し</b></p> <p>名古屋港通関輸出金額は22か月連続の前年比増加</p>
公共部門	公共投資			<p><b>持ち直し傾向が一服</b></p> <p>公共工事請負金額は3か月ぶりの前年比増加</p>

当面の見通し	<p><b>緩やかに持ち直す見通し</b></p> <p>中国の団体旅行の解禁によるリバウンド需要の回復が期待され、景気は緩やかな持ち直しが続くと思われる一方、物価高や海外経済の減速による景気下押し圧力が強まる可能性も。</p>
--------	--

※1「水準評価」は、景気全体ならびに個別項目の水準について5段階で判断するもので、

:晴、:晴～曇、:曇、:曇～雨、:雨、を示す。

※2「基調判断(前月比較)」は、基調判断の表現を前月と比べたもので、

:上方修正、:据え置き、:下方修正を示す。

(例えば、「回復」→「減速」となれば下方修正、「回復」→「回復」なら据え置き、となる)

したがって、矢印は景気全体ならびに個別項目の方向感を示すものではない。

個別項目の見通しは、特に表記がない場合には先行き半年間程度の見通しを示す。

お問い合わせ先	三十三総研 調査部 古橋
	電話: 059-354-7102
	Mail: 33ir@33bank.co.jp

2. 個別部門の動向:家計部門

個人消費	水準評価		⇒	詳細	回復に向けた動き
	基調判断	前月比較			

◀現状▶

- 個人消費は、回復に向けた動き。
- 個人消費の動向を支出側からみると、7月の消費支出(勤労者世帯、名古屋市)は、前年比▲2.4%と2か月ぶりの減少(図表1)。交通・通信(同+114.8%)や家具・家事用品(同+44.7%)などが増加したものの、教養娯楽(同▲46.5%)、保健医療(同▲37.4%)などが減少。
- 個人消費の動向を販売側からみると、7月の百貨店販売額は、前年比+7.6%と22か月連続の増加。ラグジュアリーブランドや宝飾品などの高付加価値商材が好調だった他、インバウンド需要も堅調に推移。スーパー販売額は同+1.0%と7か月ぶりの増加。購入点数は前年を下回る傾向が持続したものの、値上げによる単価上昇が販売額の増加に寄与(図表2)。
- 8月の新車乗用車販売台数(含む軽乗用車)は、前年比+33.7%と8か月連続の増加(図表3)。内訳をみると、普通車(同+31.8%)が8か月連続、小型車(同+36.7%)が2か月ぶり、軽自動車(同+34.4%)が5か月連続で増加した。半導体不足による供給制約が緩和してきていることなどが要因。

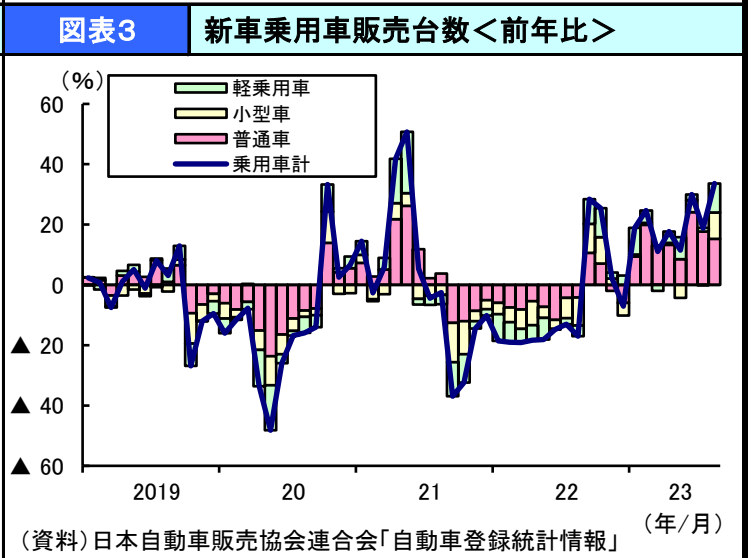
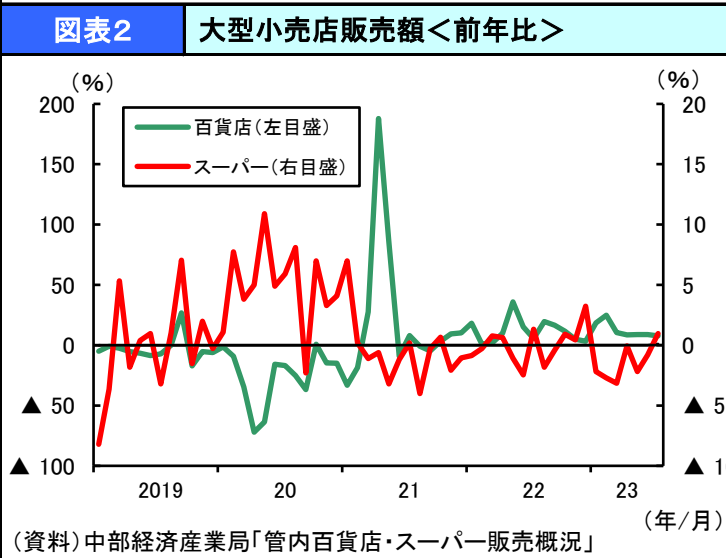
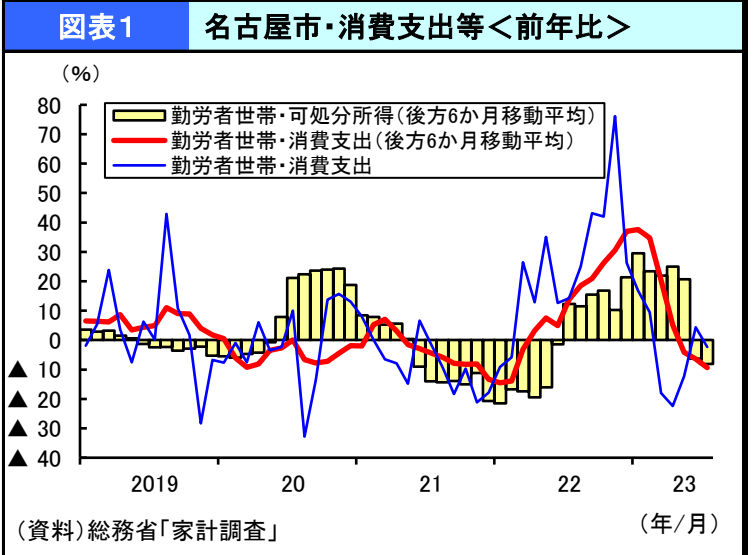
◀見通し▶

- 中国の団体旅行解禁によりインバウンド消費の増加が見込まれることに加え、雇用、所得環境が改善することで、持ち直しが続くことが期待される。一方、物価上昇の影響による節約志向の高まりから、持ち直しペースが鈍化する懸念も。

**◆7月 勤労者世帯・消費支出(名古屋市)**  
 前年比▲2.4%(2か月ぶりの減少)  
 ・交通・通信:前年比+114.8%(2か月ぶりの増加)  
 ・家具・家事用品:前年比+44.7%(6か月ぶりの増加)

**◆7月 大型小売店販売額**  
 ・百貨店:前年比+7.6%(22か月連続の増加)  
 ・スーパー:前年比+1.0%(7か月ぶりの増加)

**◆8月 新車乗用車販売台数(含む軽乗用車)**  
 23,471台 前年比+33.7%(8か月連続の増加)  
 ・普通車 11,158台  
 前年比+31.8%(8か月連続の増加)



雇用	水準評価		⇒	詳細	回復傾向が一服
	基調判断	前月比較			

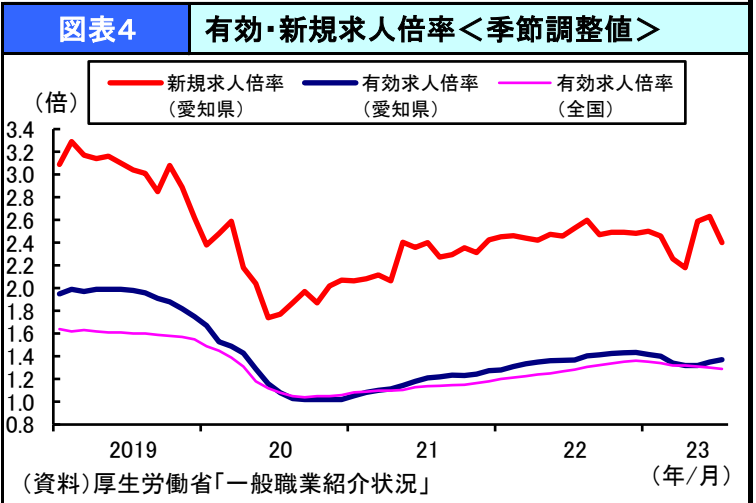
《現状》

○雇用は、回復傾向が一服。  
 ○7月の雇用環境をみると、有効求人倍率は1.37倍（前月差+0.01ポイント）と2か月連続の上昇。新規求人倍率は2.40倍（同▲0.23ポイント）と3か月ぶりの低下（図表4）。新規求人数は前年比▲2.8%と3か月ぶりの減少。業種別にみると、情報通信業（同+18.4%）、金融業・保険業（同+74.6%）などが増加したものの、宿泊業・飲食サービス業（同▲18.1%）、医療・福祉（同▲2.6%）などが減少した。

《見通し》

○サービス消費の持ち直しにより、飲食店やホテル・旅館など対面型サービス業では人手不足感が強まっている。先行きの雇用環境は、緩やかな改善が続く見通し。

**◆7月 求人倍率(季節調整値)**  
 ・有効求人倍率:1.37倍  
   前月差+0.01ポイント(2か月連続の上昇)  
 ・新規求人倍率:2.40倍  
   前月差▲0.23ポイント(3か月ぶりの低下)  
**◆7月 新規求人数(原数値)**  
 ・前年比 ▲2.8%(3か月ぶりの減少)



住宅投資	水準評価		⇒	詳細	底離れしつつある
	基調判断	前月比較			

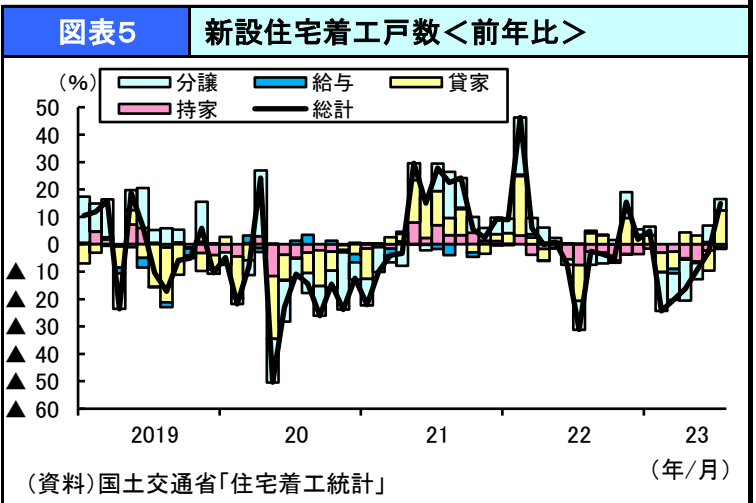
《現状》

○住宅投資は、底離れしつつある。  
 ○7月の住宅着工戸数は、前年比+14.9%と6か月ぶりの増加（図表5）。利用関係別にみると、持家（同▲3.3%）は17か月連続の減少となったものの、貸家（同+36.9%）は2か月ぶり、分譲マンション（同+89.4%）や分譲一戸建て（同▲14.2%）の分譲住宅（同+13.1%）が2か月連続の増加。

《見通し》

○先行きは、人件費や建築資材の高騰に伴う住宅価格の高止まりや住宅ローン金利の上昇懸念が住宅投資の抑制要因となる可能性も。

**◆7月 住宅着工戸数**  
 4,938戸 前年比+14.9% (6か月ぶりの増加)  
 ・持家:1,404戸  
   前年比▲3.3% (17か月連続の減少)  
 ・貸家:1,971戸  
   前年比+36.9% (2か月ぶりの増加)  
 ・分譲:1,556戸  
   前年比+13.1% (2か月連続の増加)



3. 個別部門の動向: 企業部門

企業活動	水準評価		→	詳細	☀️   ☁️
	基調判断	前月比較			

《現状》

○企業の生産活動は、緩やかな回復傾向にある。  
 ○7月の鉱工業生産指数は、前年比+13.2%と7か月連続の上昇(図表6)。生産用機械(同▲13.9%)が7か月連続、汎用・業務用機械(同▲5.8%)が8か月連続で低下した一方、輸送機械(同+35.2%)が7か月連続、鉄鋼(同+13.5%)が6か月連続の上昇。

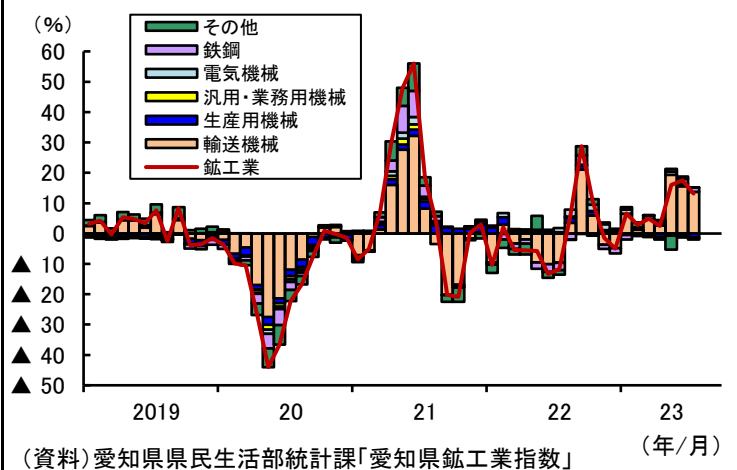
《見通し》

○トヨタ自動車の2024年3月期の国内生産台数は4年ぶりに300万台まで回復する見通しであり、高水準の生産を維持する方針。

◆7月 鉱工業生産

- 前年比+13.2% (7か月連続の上昇)
- 輸送機械: 前年比+35.2% (7か月連続の上昇)
  - 鉄鋼: 前年比+13.5% (6か月連続の上昇)
  - 生産用機械: 前年比▲13.9% (7か月連続の低下)
  - 汎用・業務用機械: 前年比▲5.8% (8か月連続の低下)

図表6 鉱工業生産指数<前年比>



企業倒産	水準評価		→	詳細	☁️
	基調判断	前月比較			

《現状》

○企業倒産は、悪化しつつある。  
 ○8月の県下倒産状況(負債総額1,000万円以上)をみると、倒産件数は37件(前年比+8件)と8か月連続の増加。負債総額は87億円(同▲63億円)と2か月連続の減少(図表7)。コロナ融資の返済本格化や物価高の影響などを受けて、倒産件数は増加傾向が持続。

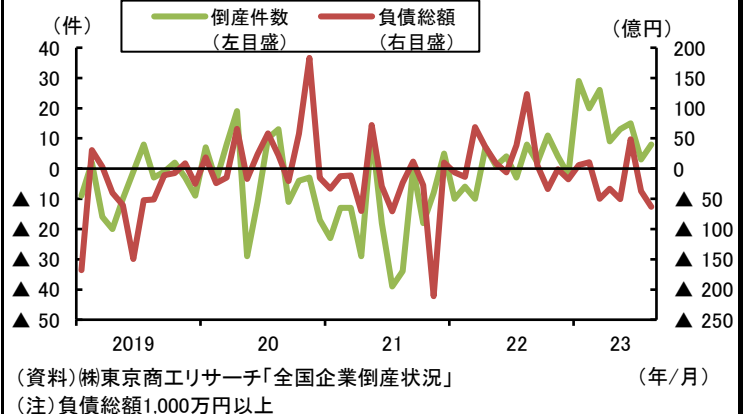
《見通し》

○原材料・エネルギー価格の高騰による仕入コストや光熱費の上昇、人手不足による人件費上昇などの業績圧迫要因に加え、コロナ融資の返済が本格化し、経営再建を断念する息切れ倒産が増加する可能性も。

◆8月 企業倒産

- 倒産件数: 37件  
前年比+8件(8か月連続の増加)
- 負債総額: 87億円  
前年比▲63億円(2か月連続の減少)

図表7 倒産件数・負債総額<前年比>



#### 4. 個別部門の動向:海外部門

輸出	水準評価		⇒	詳細	持ち直しの兆し
	基調判断	前月比較			
<p>◀現状▶                      ○輸出は、持ち直しの兆し。                      ○8月の名古屋港通関輸出額は、前年比+11.8%と22か月連続の増加(図表8)。仕向地別にみると、海外経済の減速により、中国向け(同▲12.3%)が10か月連続で減少した一方、西欧向け(同+22.9%)が5か月連続で増加。品目別にみると、自動車(同+55.2%)や重電機器(同+42.4%)が増加。</p> <p>◀見通し▶                      ○景気回復が期待された中国向けが伸び悩んでいるほか、世界的なインフレ、金利上昇、ウクライナ情勢の影響による海外の景気減速見通しから、輸出全体の持ち直しペースは鈍化する見通し。</p>					
<p>◆8月 名古屋港通関輸出額                      12,061億円 前年比+11.8%(22か月連続の増加)                      ・西欧:前年比+22.9%(5か月連続の増加)                      ・中国:前年比▲12.3%(10か月連続の減少)</p>			<p>図表8 名古屋港通関輸出額&lt;前年比&gt;</p> <p>(資料)名古屋税関「管内貿易概況」 (年/月)</p>		

#### 5. 個別部門の動向:公共部門

公共投資	水準評価		⇒	詳細	持ち直し傾向が一服
	基調判断	前月比較			
<p>◀現状▶                      ○公共投資は、持ち直し傾向が一服。                      ○8月の公共工事請負状況をみると、請負件数は前年比▲5.1%と2か月連続の減少。一方、請負金額は同+1.9%と3か月ぶりの増加(図表9)。請負金額を発注者別にみると、国(同▲22.3%)や独立行政法人(同▲41.6%)が減少したものの、市町村(同+6.5%)や県(同+1.6%)が増加。</p> <p>◀見通し▶                      ○リニア中央新幹線開業を見据えた名古屋駅スーパーターミナル化、ジブリパークの整備、中部国際空港の将来構想など大型案件が見込まれ、公共投資は持ち直しに向かう見込み。</p>					
<p>◆8月 公共投資                      ・公共工事請負件数:803件                      前年比▲5.1%(2か月連続の減少)                      ・公共工事請負金額:419億円                      前年比+1.9%(3か月ぶりの増加)</p>			<p>図表9 公共工事請負金額&lt;前年比&gt;</p> <p>(資料)東日本建設業保証㈱「愛知県内の前払金保証取扱高」 (年/月)</p>		

# 県内経済トピックス

(2023年8月)



## 1. 愛知県の最低賃金 41円引き上げ1,027円に

- 8月4日、愛知地方最低賃金審議会は2023年度の愛知県内の最低賃金を41円引き上げ、1,027円とする答申を実施。41円の引き上げ額は過去最大の上昇幅であり、引き上げは20年連続。上げ幅は厚生労働相の諮問機関である中央最低賃金審議会が地域ごとに示した目安と同額だった。
- 新たな最低賃金額は10月1日に改定される予定。4日の審議会で労働者側は「主張した金額には及ばなかったものの、過去最大の引き上げ幅となったことは評価している」と述べた。使用者側は「経営改善に向けた環境は先行き不透明だ。業績が回復途上で人材投資への原資を十分に確保できていない中小企業が多数存在している」と懸念を示した。

## 2. 愛知県 ファミリーシップ制度導入検討 24年4月にも

- 8月17日、愛知県は事実婚や性的少数者(LGBTQ)のカップルとその子どもを家族として公式に認める「ファミリーシップ制度」の導入を検討すると発表した。
- 家族に限られる県立病院での面会や公営住宅の入居ができるようになる。パブリックコメントを踏まえ、2024年4月の運用開始を目指す。
- 県によると子どもを対象に含む制度の導入は都道府県で初となる見込み。大村知事は記者会見で「婚姻という形に入れなくても、子どもをこれから育てたいというカップルが増えていく。制度導入は子育て支援につながる」と強調した。

## 3. 名鉄 熱田神宮近くに木造平屋の商業施設を3棟建設へ

- 名古屋鉄道は8月29日、熱田神宮近くの神宮前駅西街区に木造平屋建ての商業施設を3棟建設すると発表した。2023年9月に着工し、2024年秋ごろから順次開業を目指す。
- 敷地面積は約7,000平方メートルで延べ床面積は約1,100平方メートル。建物には愛知県産の木材を使用し、伝統的な木造建築の要素を取り入れる。地域食材を使った食べ歩きを楽しめる店など合計15店程度の入店を見込む。
- 名古屋市観光客・宿泊動向統計によると熱田神宮の客数は新型コロナ禍前の2019年時点で約740万人と東山動植物園(同約250万人)や名古屋城(同約220万人)を引き離す。再開発は熱田神宮周辺のまちづくりと観光活性化を目的としており、観光客の消費を促す拠点と位置づける。

## 景 気 指 標

三十三総研  
2023/9/29

## &lt;愛知県&gt;

(注) ( )内は前年同期(月)比 &lt; &gt;内は季節調整済前期(月)比

	2021年	2022年	2022年		2023年		2023年				
			7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	4月	5月	6月	7月	8月
大型小売店販売額	( 1.3)	( 2.8)	( 2.8)	( 2.9)	( 2.5)	( 1.6)	( 2.3)	( 0.7)	( 1.8)	( 2.9)	
百貨店	( 7.1)	( 10.6)	( 13.8)	( 6.6)	( 17.2)	( 8.8)	( 8.7)	( 8.9)	( 8.8)	( 7.6)	
スーパー	(▲ 0.5)	( 0.1)	(▲ 0.3)	( 1.5)	(▲ 2.7)	(▲ 1.0)	(▲ 0.1)	(▲ 2.2)	(▲ 0.8)	( 1.0)	
新車登録・販売台数(台)	210,783 (▲ 3.5)	188,998 (▲ 10.3)	46,813 (▲ 3.1)	48,315 ( 1.0)	66,723 ( 20.4)	47,294 ( 23.1)	14,951 ( 20.0)	12,783 ( 5.9)	19,560 ( 40.8)	19,027 ( 24.8)	16,821 ( 33.4)
有効求人倍率(季調済)	1.17	1.37	1.39	1.43	1.38	1.33	1.32	1.32	1.35	1.37	
新規求人倍率(季調済)	2.24	2.48	2.53	2.49	2.41	2.46	2.18	2.59	2.63	2.40	
名目賃金指数(調査産業計)	(▲ 1.1)	( 2.1)	( 0.6)	( 3.1)	( 0.6)	( 3.3)	( 2.8)	( 4.2)	( 2.9)		
実質賃金指数(同)	(▲ 0.7)	(▲ 1.1)	(▲ 2.9)	(▲ 2.0)	(▲ 4.0)	(▲ 0.8)	(▲ 1.4)	( 0.1)	(▲ 1.1)		
所定外労働時間(同)	( 3.4)	( 0.3)	( 1.8)	( 1.9)	(▲ 1.7)	( 1.4)	( 0.0)	( 3.7)	( 0.9)		
常用雇用指数(同)	(▲ 0.5)	(▲ 1.2)	(▲ 0.9)	(▲ 2.3)	(▲ 1.5)	(▲ 1.0)	(▲ 1.4)	(▲ 0.9)	(▲ 0.6)		
新設住宅着工戸数(戸)	58,940 ( 7.3)	59,255 ( 0.5)	14,320 (▲ 13.6)	15,181 ( 3.9)	12,649 (▲ 14.9)	13,447 (▲ 9.6)	4,371 (▲ 16.3)	4,201 (▲ 9.5)	4,875 (▲ 2.9)	4,938 ( 14.9)	
鉱工業生産指数	( 5.6)	( 5.2)	( 5.9)	( 0.9)	( 4.7)	( 11.7)	( 2.5)	( 16.0)	( 17.5)	( 13.2)	
	-	-	< 1.8>	<▲ 0.4>	< 2.0>	< 7.9>	< 3.2>	< 0.7>	< 3.0>	<▲ 1.0>	
企業倒産件数(件)	364	370	103	112	139	128	40	42	46	37	37
(前年同期(月)差)	(▲ 178)	( 6)	( 7)	( 13)	( 75)	( 37)	( 9)	( 13)	( 15)	( 3)	( 8)
民間非居住建築物着工床面積(千㎡)	3,407 ( 17.5)	3,689 ( 8.3)	1,194 ( 80.4)	763 (▲ 35.7)	527 ( 0.3)	1,119 (▲ 7.2)	607 ( 11.6)	181 (▲ 54.6)	330 ( 25.9)	303 (▲ 50.0)	
名古屋港 輸出(億円)	124,805 ( 19.8)	140,144 ( 12.3)	35,591 ( 17.0)	38,432 ( 16.8)	33,597 ( 3.9)	36,388 ( 7.7)	12,414 ( 1.1)	10,893 ( 9.8)	13,080 ( 12.9)	13,651 ( 13.6)	12,061 ( 11.8)
公共工事請負金額(億円)	5,009 (▲ 5.8)	5,303 ( 5.9)	1,548 ( 1.2)	818 ( 4.1)	903 ( 4.4)	2,333 ( 12.5)	1,023 ( 15.5)	631 ( 33.2)	679 (▲ 5.0)	570 (▲ 11.1)	419 ( 1.9)
消費者物価指数・除く生鮮(名古屋市)	(▲ 0.3)	( 2.4)	( 3.0)	( 4.4)	( 4.1)	( 3.4)	( 3.5)	( 3.3)	( 3.4)	( 3.0)	( 2.8)

## &lt;東海3県(愛知・三重・岐阜)&gt;

	2021年	2022年	2022年		2023年		2023年				
			7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	4月	5月	6月	7月	8月
大型小売店販売額(全店)	( 0.8)	( 2.0)	( 1.8)	( 2.6)	( 1.5)	( 1.1)	( 1.8)	( 0.4)	( 1.2)	( 2.8)	
同 (既存店)	( 1.1)	( 1.7)	( 1.6)	( 1.9)	( 0.8)	( 0.3)	( 0.8)	(▲ 0.3)	( 0.5)	( 2.0)	
新設住宅着工戸数(戸)	80,507 ( 7.2)	80,112 (▲ 0.5)	20,177 (▲ 9.6)	20,237 (▲ 0.1)	17,162 (▲ 11.8)	18,039 (▲ 10.9)	5,839 ( 2.7)	5,751 ( 2.7)	6,449 ( 3.0)	6,579 ( 3.1)	
有効求人倍率(季調済)	1.22	1.43	1.45	1.48	1.43	1.37	1.37	1.36	1.38	1.39	
新規求人倍率(季調済)	2.26	2.51	2.57	2.53	2.42	2.43	2.21	2.55	2.54	2.37	
鉱工業生産指数	( 6.7)	(▲ 1.9)	( 3.7)	(▲ 3.5)	(▲ 3.3)	( 5.9)	(▲ 1.0)	( 14.6)	( 5.2)	( 7.7)	
	-	-	< 1.6>	<▲ 0.9>	< 0.5>	< 4.8>	< 4.0>	<▲ 6.8>	< 7.1>	< 0.0>	
企業倒産件数(件)	538	534	142	158	203	190	53	64	73	67	52
(前年同期(月)差)	(▲ 208)	(▲ 4)	(▲ 6)	( 7)	( 104)	( 55)	( 3)	( 25)	( 27)	( 20)	( 12)
域内外国貿易 純輸出(億円)	82,815	67,171	14,523	19,328	14,088	21,751	6,877	5,827	9,039	9,086	7,257
輸出(億円)	169,902 ( 19.8)	190,724 ( 12.3)	48,745 ( 18.0)	52,052 ( 14.7)	45,515 ( 3.4)	50,885 ( 10.9)	17,072 ( 0.9)	15,180 ( 14.7)	18,625 ( 18.3)	19,094 ( 14.1)	17,149 ( 19.0)
輸入(億円)	87,087 ( 23.2)	123,553 ( 41.9)	34,222 ( 56.3)	32,724 ( 34.5)	31,426 ( 19.4)	29,134 (▲ 3.8)	10,195 ( 4.5)	9,353 (▲ 7.1)	9,586 (▲ 8.3)	10,008 (▲ 2.2)	9,892 (▲ 19.0)